

## 「全鍍連」 2022年 12月号 若者から一言

京都府鍍金工業組合

鍍秀会会長 上田 大輔 (上田鍍金(株) 営業部 営業課 リーダー)

「鍍秀会を通して」



京都府鍍金工業組合青年部 鍍秀会 会長を務めております上田大輔と申します。

全国鍍金工業組合連合会関係各位には、日頃より大変お世話になり誠にありがとうございます。

鍍秀会が発足されたのは、昭和41年10月8日です。当時のめっき技術や業界動向の飛躍的变化により、従来の所謂“勘”や“コツ”では管理ができなくなり、“技術による管理”が必要であると考えられるようになりました。そんな中で「従来の経営の研究、技術の勉強だけではなく、将来の業界を考え“青年会”的な会を作り、若手の育成を並行してはどうか」との意見があり、当時の組合専務理事であり弊社初代社長であった上田熊之助が提案しました。そして、当時の北村鍍金（現在のメテック(株)）殿において初代会長に田淵一三氏を招き、創設して以来56年の時を経て現在に至ります。

非常に歴史のある鍍秀会ですが、私が鍍秀会の会長を務めたのは2020年4月からです。

現在3年目となりますが、会長就任当初、新型コロナウイルス感染症が流行し始めたところでした。例年、鍍秀会の行事としては、総会・納涼会・新年賀詞交歓会や他府県青年部の皆様との合同勉強会及び交流会、公設機関と共催で開催する勉強会など、多数の行事がございます。勉強会に関してはオンライン勉強会として継続して実施して参りました。会長就任当初は、私含め幹事一同、WEBシステムには馴染みがなく戸惑いも多くありました。ですが、先人の方々が守ってこられた鍍秀会の歩みを止めることなく、環境の変化に順応していくことが重要であると考え、すぐにオンライン勉強会に取り組みました。一方で、懇親会関係の行事は、コロナウイルスによる影響を鑑み、会長就任以降、現在に至るまですべての行事において中止の判断をせざるを得ませんでした。

他の青年部の皆様も同じ思いではないかと思いますが、私が鍍秀会に入会して得られた一番大切なことは、同業他社の皆様との交流・繋がりであります。競合でありながらも協力し合える関係性というのは非常に価値のあることだと感じております。これから益々厳しくなる時代を生き残っていくためにも、業界全体で協力し合い盛り上げていきたいと思っております。2023年2月には、全国の組合青年部の交流の場として「未来を担う若手の集い」を京都開催で予定しております。2年連続中止を余儀なくされてきましたが、今年度こそは開催できるように準備を進めて参ります。そして、交流を通してより一層業界の輪が広がり発展することを心より祈念しております。